

「災害医療・救急医療支援講座」を開設しました。

小林市立病院は、地域災害拠点病院及び地域医療支援病院の機能を有し、さらに救急告示病院として第二次救急医療機関に指定されています。

近年、南海トラフ地震等の大規模災害の発生が高まることが危惧されていますが、沿岸部の災害拠点病院においては、その多数が被災することが想定され、内陸部に位置する都城市郡医師会病院や当院が相互連携して大規模災害に備えた医療体制を構築することを目的としています。

また、西諸医療圏には、国・県立病院、また、大学病院等の高次救急を担う医療機関が設置されていない状況であることから、当地域への地域救急を講座の開設により支援いただくことは、大変、有意義なものです。

このような背景から、国立大学法人宮崎大学と小林市により協定を締結し、令和3年4月1日から小林市立病院で活動が開始されました。

今後は、院内での様々な教育訓練、救急隊との連携等を計画的に行っていきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

講座開設に伴うスタッフをご紹介します！



宮崎大学医学部
災害医療・救急医療支援講座
特別准教授 遠藤 稷治 先生

常勤



宮崎大学医学部
災害医療・救急医療支援講座
特別助教 工藤 洋平 先生

非常勤



宮崎大学医学部
災害医療・救急医療支援講座
技能補佐員 鵜澤 佑 さん

非常勤